

今年こそは職員参加でシカを捕獲するぞ！

(「ニホンジカ捕獲応援（国有林の見回り隊）」活動スタート！！)

昨年度に発足した「ニホンジカ捕獲応援（国有林野の見回り隊）」も2年目に入り、令和5年度の活動を開始すべく、9月1日に遠野市及び遠野猟友会を招き、シカ捕獲のための安全講習会を実施しました。

ニホンジカ捕獲応援（国有林野の見回り隊）とは・・・

ここ数年でシカの食害等による森林被害が深刻化しており、その対策としてシカの捕獲を目的に、捕獲実施隊（猟友会）が国有林内（請負事業地の通勤途中）にワナを仕掛け、講習会を受講して捕獲補助者に認定された支署職員及び請負事業体が通勤途中などに見回りを行い、捕獲の補助を担う。という取組です。



初めて見る、囲いワナの仕組み

講習会には支署職員 13 名と請負事業体 4 名が受講し、従事内容等や囲いワナによる捕獲方法について講義を受けました。

囲いワナの仕組みに、皆興味津々です。

また、昨年の取組で得た反省点を活かして、今年度の捕獲手法を検討しました。

- ① まずは痕跡等から場所を選定（糞や足跡から）
- ② 餌付け（鉈塩）をして誘引する（センサーカメラで確認）
- ③ ワナを仮設置、餌付けを続けてワナへの警戒心を解く
- ④ ワナのロックを解除し捕獲開始

餌付けは5月から行っており、餌（鉈塩）に誘引された鹿の群れの写真を見て、支署職員や猟友会も捕獲の意欲が湧いてきました。



鉈塩に誘引されるシカ



夜は警戒心が薄いようです



猟友会とワナを仮設置

捕獲開始は9月中旬からになります。

今年こそは捕獲実施隊と見回り隊が連携し、捕獲の成果をあげたいと思います。

また、この活動により支署職員の捕獲圧を高め、少しでも森林被害の減少、また地域の共通課題への取組に繋がればいいな、と感じています。